



猛き黄金の国

道
一
二
三

四

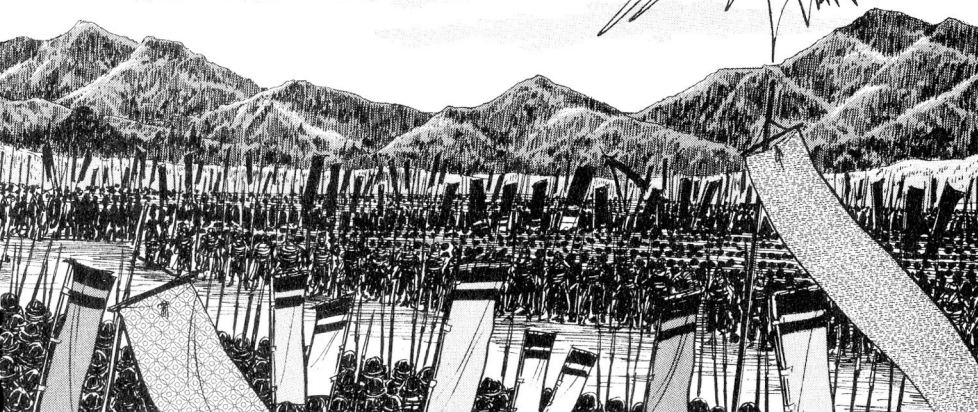
【蝮】

本宮ひろ志



第二十八話 合戦

彦坂倉人殿
着陣——ッ



揖斐軍
一千騎
鷲巢軍
七百騎

国島軍
一千騎
彦坂軍一千三百騎

総勢四千
すべてが着陣
致しました

この戦は
今は亡き小守護
長井利安殿の
甲合戦じゃ

敵の雑兵など
どうでもよい
狙うは奸賊
西村勘九郎の
首ひとつ!





おお



伝令

!!

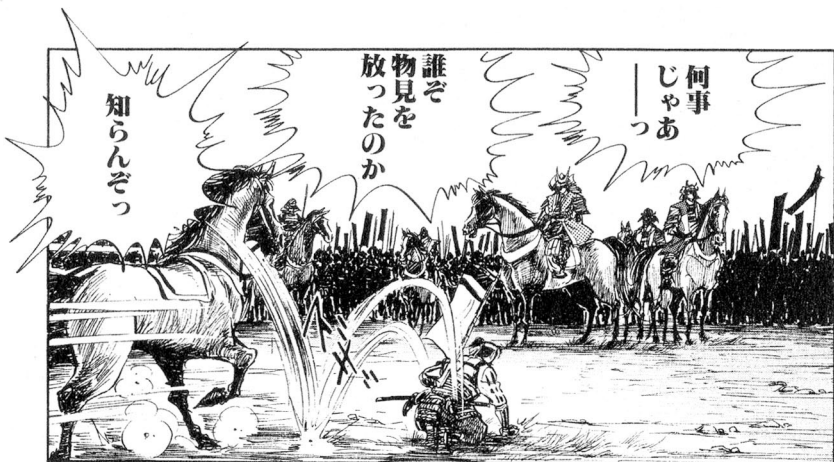
伝令

ッ



出陣!!

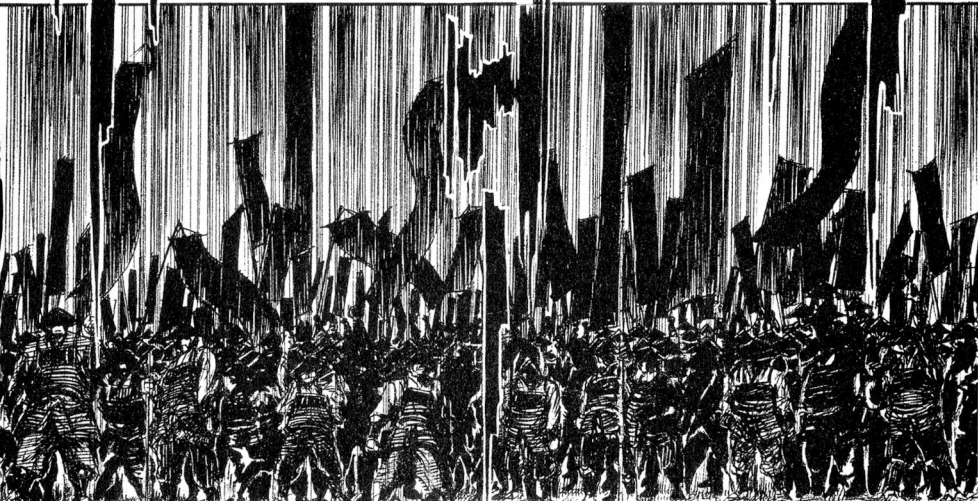
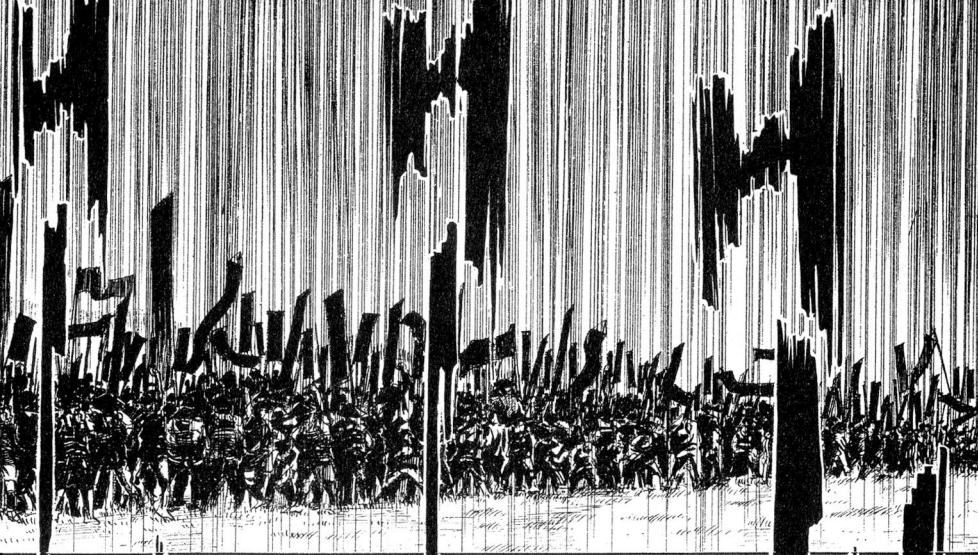
陣員を
吹け—ッ

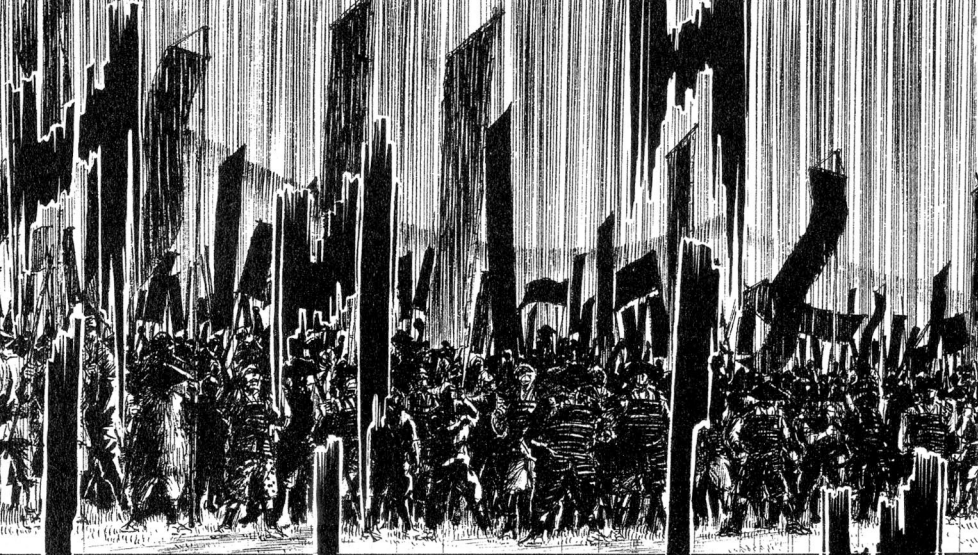




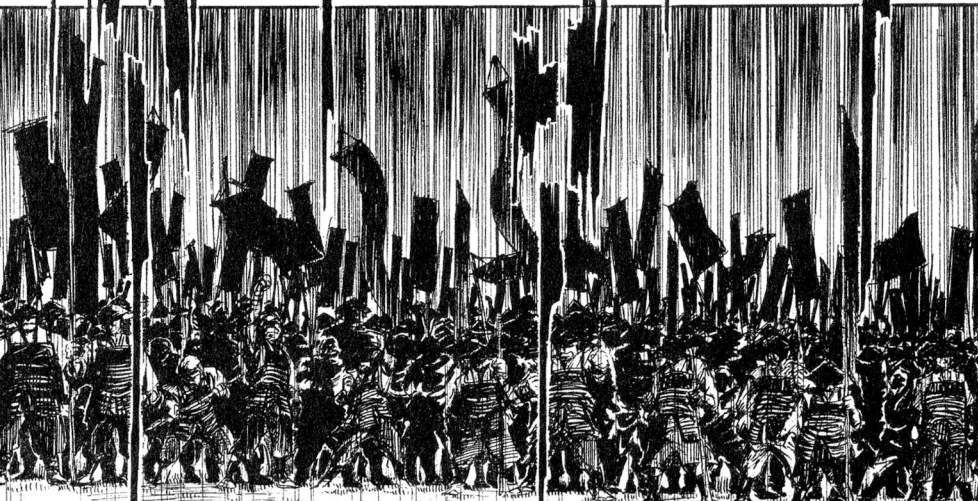








なんじゃ
これは



聞けえーい
謀反人共オ

美濃守護職
土岐頼芸公は
うぬらを一人残らず
成敗せよと軍令を
発せられたア



川手城城代
西村勘九郎

守護職の
命により
うぬらを討つ



しかあーし
同じ美濃の
同胞として!!

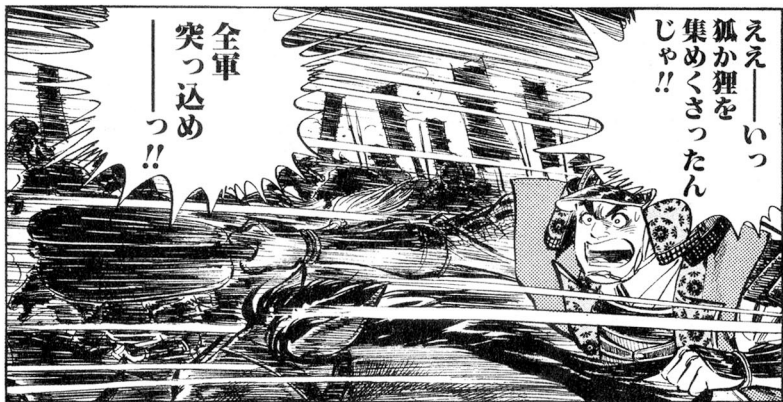
皆殺しに
するの
は
しのびなし

このまま
退くなら
命は助けて
くれようぞ!!



敵見る限りで
二万!!
こちらの
五倍じゃあ

なぜだ
なぜこんな
兵力が!!
美濃のどこに
いると
いうのじゃ



ええーいっ
狐か狸を
集めくさったん
じゃ!!

全軍
突っ込め
っ!!



ばかめ
があ

右翼左翼
打てえーい!!







退け

——いっ!!

退けつ
退けつ



見たか
皆の衆
日頃偉そうに
威張りくさってる
武士といえど

あの程度じゃ
所詮
同じ人間よ
わあっははは



いやーっ
気持ち
ええ

やったあ

わあっは
はは

さむれえが
逃げ出し
やがったあ



よく
やったあ

この戦
お前達の
勝利じゃあ



それにしても
こんなに
集まるとは
思っても
いなかった

我が本巢郡の
百姓の衆
そして市場の
店の者 客の者
あつく礼を
言うぞ

わあっ
ははは

西村様の
言った通り
戦わずして
勝ちましたな



女だつて
気付かれや
しないかと
ヒヤヒヤ
したよ

あたしなんて
怖くって
亭主の腰に
しがみついて
旗振ってたよ

今日ここに
参加の者には
今年の年貢と
市場の運上金は
すべてなしと
しよう!!



今晚は
ねぎらいに
父ちゃんの
サオ振って
やんな

このスケベ
!!

おははは!







